



写真：野中浩一、窪田迅郎、石井

| | | | | |
|--------------|---|------------------------------------|-------|------|
| 施設名 | 就労継続支援B型事業所 があでん・ららら | | 活動年数 | 25年 |
| | | | メンバー数 | 約40人 |
| 活動紹介 | 活動場所 | 下記住所地 | | |
| | 活動日 | があでん・ららら(月～金) 喫茶店「ハーブカフェ ららら」(木・金) | | |
| | <p>活動を始めた背景</p> <p>があでん・らららは、精神障がいのある方が利用する就労継続支援B型の事業所です。精神しょうがいのある人が自らの望む暮らしを実現するために、平成8年4月に、市民団体「ASA O健康井戸端会議」が、園芸農家から温室と家屋を借り、多くの地元ボランティアの支援を受けてスタートしました。現在は「社会福祉法人SKYかわさき」が引継いでいます。</p> <p>(活動内容)</p> <p>働きたい、就労したいという利用者それぞれの目的に合わせて、ハーブティー製造、焼き菓子製造、園芸、クラフト製品づくり、喫茶店業を通して仕事の提供や訓練をおこなっております。</p> <p>また、イベントや喫茶店「ハーブカフェ ららら」を通して地域の人々と触れ合いながら、地域に根差した活動に取り組んでいます。</p> | | | |
| 2022年度のトピックス | <p>コロナ禍も3年目となり、感染症対策をおこないながら少しずつですが地域のイベントにも参加することができた一年となり、地域の繋がりを再認識する機会となりました。麻生区区政40周年イベントにちなんだクッキー作りや「川崎イモノ直売所」の自販機販売など、今までの繋がりを活かした新しい製品づくりにも励むことができました。また、今年度も東柿生小学校の総合学習の授業に取り上げていただき、早野地区の社会資源のひとつとして、喫茶店、福祉施設、ハーブガーデン等いろいろな側面から多くの子どもたちと交流することができました。</p> | | | |
| 課題 | <p>「があでん・ららら」の活動を通して、精神しょうがいのある人が自ら望む暮らしを実現するため、人と人がつながりあえるように地域の皆さんと一緒に検討していきたいと考えています。</p> | | | |
| 参加上の案内 | <p>週一回以上定期的にボランティアで参加できる方を大募集。内容はガーデン、畑などの手入れ、植付などの作業、販売などを利用者と一緒に行ってくださる方を募集します。</p> <p>■ 寄付金の受付中</p> <p>興味のある方は下記へご連絡ください。</p> | | | |
| 代表者 | 所長 金森孝之 | | | |
| 連絡先 | <p>名前 金森孝之 住所 〒215-0022 川崎市麻生区下麻生3-32-5</p> <p>電話 (044)989-8323 FAX (044)322-8637</p> <p>ホームページ https://www.sky1995.com/shop/cafe.html</p> <p>インスタグラム @herbcafe_lalala</p> | | | |





| | | | | |
|--------------|---|--|-------|-----|
| 団体名 | 早野聖地公園里山ボランティア | | 活動年数 | 24年 |
| | | | メンバー数 | 72名 |
| 活動紹介 | 活動場所 | 麻生区早野 早野聖地公園内 炭焼き小屋周辺 | | |
| | 活動日 | 毎月第1・第3・第5土曜日、ただし炭焼き期間(12月～1月)は毎週土曜日 | | |
| | 活動方針 | <p>里山を将来にわたり、保全・管理し、地域振興と早野の文化を継承していき、人と自然との共生を図る。</p> <p>活動内容 (*印=紹介カードー2に活動写真あり)</p> <p>1.里山再生=伐って育てる森(里山の若返り)⇒生物多様性の向上を図る。</p> <p>*ナラ枯れ対策(発見⇒伐採 19本)および視察研修⇒(シートで覆い⇒炭焼きに利用)、切り株=飛散防止処置、里山の下草刈り・篠竹刈り、清掃、林地の樹木伐採、*苗木の育成と植樹・萌芽更新等、循環利用(炭焼き・キノコ類栽培)、里山の若返りを図る。湿地帯の管理および保全。動植物の保護・育成監視 昆虫類の寝床・繁殖(冬眠)地の確保</p> <p>2.炭焼き(伐採材の活用)循環利用⇔SDGsの積極的な参加と炭素の固定化実施</p> <p>原木の切り出し～炭焼き(竹炭含む)、炭を利用した湿地帯水質浄化、苗圃・畑の土壌改良、トイレの消臭剤として利用、*ナラ枯れ木伐採=19本(除伐含む)と*腐敗促進作業・毎年炭焼きを実施、年間に炭素(C)を1000Kg以上固定化し温暖化防止に努めています。</p> <p>3.農業体験</p> <p>畑・花壇の手入れ、サツマイモ、ジャガイモ、椎茸・*ナメコの栽培(新方法)、長ネギ・玉ネギ、サツマイモ掘り=虹ヶ丘小学校、*大規模ナノハナ畑=作成(3年振りの再開)</p> <p>4.地域とのふれあい</p> <p>小学校の支援=東柿生小=*体験学習・卒業植樹、虹ヶ丘小=サツマイモ掘り、中原区平間小学校=出前授業と竹の伐採実演、*ネクサスチャレンジパーク(NCP)早野=各種支援 里山フォーラム in 麻生、東京農業大学GA講座の支援、 など</p> | | |
| 2022年度のトピックス | <p>今年度も新型コロナ禍とナラ枯れに振り回されマスクをしながらの自主活動が中心となりました。</p> <p>・ナラ枯れの現場視察と講習会=横浜市議会一行、中原区平間小学校=出前授業と竹炭提供</p> <p>・川崎区西大島ルーテル保育園=木育・火育・植樹体験、大規模ナノハナ畑再開</p> <p>・NCP早野/オープンに伴う各種支援実施=*火起こしチャレンジ、薪の提供、農業体験助言</p> <p>・カエンダケ=対応・処理方法と会員内講習会ならび警告メッセージの掲示</p> | | | |
| 参加上の案内 | <p>会員募集中 入会受付=活動日に直接現地(炭焼き小屋)にお越し下さい。</p> <p>年会費=1000円 活動時間=9:45~15:00</p> <p>服装=動きやすく汚れてもよい服装 持ち物=弁当、水筒、手ぬぐい、軍手など</p> <p><input type="checkbox"/>会員募集中 <input type="checkbox"/>里山体験・見学など 募集中</p> | | | |
| 代表者 | <p>小泉 清 電話 044-987-0020 FAX 044-987-0020</p> <p>E-mail shiorikobo@jcom.home.ne.jp</p> | | | |
| 連絡先事務局 | <p>早野聖地公園里山ボランティア 〒215-0016 麻生区早野 732 早野聖地公園霊園事務所</p> <p>電話 044-987-6120 FAX 044-986-0813</p> | | | |

団体名 | 早野聖地公園里山ボランティア

活動紹介写真

1. 里山再生＝伐って育てる森(里山の若返り)⇒生物多様性の向上を図る
苗圃の除草 2022.04.30.



ナラ枯れ講習会/現場視察 2022.07.10.



2. 炭焼き(ナラ枯れ材の活用)＝循環利用(今後炭焼きを手順を順次紹介します)

ナラ枯れ木伐採＝2本同時倒木 2022.10



ナラ枯れ木の腐敗促進作業 2022.11.04.



3. 農業体験

ナメコ栽培＝新しい技術で実施 2022.10.29.



大規模菜の花畑の種まき 2022.11.05.



4. 地域とのふれあい

里山学習の一環＝竹伐採 2022.11.0
東柿生小学校 6年生



ネクサスチャレンジパーク早野
火起こしチャレンジ 2022.06.19.



(全ての活動はコロナ禍のため、各種里山作業・イベントは最小限にて実施)

【市民自主企画事業(ボッチャを通じたコミュニティづくり)の様子】



障がいがあってもなくても、皆で楽しめるのがボッチャの魅力！

【市民自主企画事業(CINEMA でこそだてパート3)の様子】


「いただきます～ここは発酵の楽園～」を見た後、有機農法に取り組む畑の見学へ。土に触れながら収穫体験もし、大人も子どもも目を輝かせていたのが印象的でした。




一昨年度、市民エンパワーメント研修で作成した「岡上を歩く地図」は、岡上分館窓口で配布しております。まち歩きをしながら素敵な場所やホッと一息つけるような景色を見つけてみませんか。

| | | | | |
|-----|---|---------------------|------|----------------|
| 名称 | 岡上分館；岡上郷土誌資料コーナー | | 活動年数 | 16年 平成18年開設 |
| 紹介 | 開館日 | 通年（第1、第3月曜と年末年始を除く） | | |
| | <p>旧岡上郷土誌会（会長 宮野薫、当時）では平成18年（2006）に岡上地区の皆様の協力を頂き、岡上の歴史・文化を網羅した『郷土岡上』を発行しました。このために「収集した全資料は川崎市に寄贈して一般の利用に供したい、岡上の資料は岡上の地で保存されることを願う」といった地区の思いを岡上分館が受け止め、分館の図書室に岡上郷土誌資料コーナーが設置されました。岡上地区の歴史・文化調査には必須の資料類が集積されています。収集資料のまとめとして編集発行された冊子『郷土岡上』が道案内です。最近の郷土誌会の活動・学習の成果も、引き続きファイルしております。利用時間は午前9時から午後4時50分です（お問合せください）。</p> | | | |
| 連絡先 | 住所 〒215-0027 麻生区岡上 3-15-5 麻生市民館 岡上分館2階 図書室内 電話 044-988-0268 | | | |

| | | | | |
|---|--|-------------------------|------|-----|
| 団体名 | 岡上郷土誌会 | | 活動年数 | 11年 |
| | | | 会員数 | 10人 |
| 活動紹介 | 活動場所 | おもに麻生市民館岡上分館。テーマによっては現地 | | |
| | 活動日 | 定例研究会は第3金曜日午後1時30分から | | |
| <p>旧岡上郷土誌会では平成18年（2006）に岡上地区の歴史的な史資料を収集して、テーマ別の100を超えるファイルを作成しました。それらの資料の数々は岡上分館の郷土誌資料コーナーに収められ、一般に公開されています。当会はそれらの資料を引継ぎ、活用しつつ「岡上の歴史と文化、自然に親しむこと、また次世代に伝えていくこと」（会則より）を目的しております。</p> <p>おもな活動</p> <p>（1）岡上関連の資料類を収集・整理し、資料コーナーに追加保全する。</p> <p>（2）学習会や講座などを開催し、その記録集を刊行する。</p> <p>活動にあたっては、岡上分館をはじめ地元町会や学校等との協力・協働を大切にしています。</p> | | | | |
| 2022年度の活動 | <p>川崎市文化財課、地元の方の協力を頂き、10年ぶりに岡上神社の内部の状況・保存資料の現状の調査を行いました。</p> <p>川崎市地域文化財に決まった「川井田の辻の石造物」「川井田の畑の石造物」「谷戸の辻の石造物」「本村橋袂の馬頭観音」の説明板を岡上町内会と協力して設置しました。</p> <p>岡上の地域文化財の紹介を柿生郷土史料館 情報・研究誌「柿生文化」に掲載しました。</p> | | | |
| 代表 | 梶 睦子 | | | |
| 連絡先 | 住所 〒215-0027 麻生区岡上 3-15-5 岡上分館気付 事務局電話 070-6426-6123 | | | |

| | | | | |
|--------------|---|---|-------|-----|
| 団体名 | 和光大学・かわ道楽 | | 活動年数 | 20年 |
| | | | メンバー数 | 8名 |
| 活動紹介 | 活動場所 | 岡上和光山緑の保全地域とその周辺、鶴見川大正橋付近 | | |
| | 活動日 | 毎月第1日土曜日 午前10時～12時、午後1時～3時、第4日曜日午前10時～12時 | | |
| 活動紹介 | 活動を始めた背景 私たち“かわ道楽”は、鶴見川源流保全活動がきっかけで始まった、和光大学周辺の自然環境を保全している学生サークルです。 | | | |
| | 活動内容 主に雑木林と小川の整備や、希少生物ホトケドジョウの保護・繁殖を行っています。また大学周辺の環境保全をする上で、地域の方々との交流を不可欠と考え、さまざまな地域イベント・お祭に参加させていただいています。 さらに、私たちの活動は広がり、岡上で植生調査や水質調査に加えて、魚類調査、地域の子どもたちを対象とした自然観察会や鶴見川魚釣り体験教室も行っています。鶴見川流域ネットワーク、鶴見川源流ネットワーク、あさお流域ネットワークの活動に参加して、源流から河口まで鶴見川流域の多くの市民の方々と連携して活動しています。毎年麻生川の冬鳥調査も行っています。 | | | |
| 2022年度のトピックス |  | | | |
| 課題 | この2年間、大学で新入生勧誘活動が制限されていたため、新人が育っておらず、一部のメンバーに負担がかかっています | | | |
| 参加上の案内 | 道楽されたい方はどうぞ！動きやすくても汚れても良いかっこうで。 ✓ 体験参加者募集中（受入れ態勢あり） ✓ 寄付金などの受付中 興味のある方は下記へご連絡ください。 | | | |
| 代表者 | 名前 菅沢志大 住所 〒195-8585 町田市金井町 5-1-1 和光大学 電話 044-989-7777 内線 4311 | | | |
| 連絡先 | 名前 菅沢志大 住所 〒195-8585 町田市金井町 5-1-1 和光大学 電話 044-989-7777 内線 4311 E-mail u21t075a@wako.ac.jp ホームページなど https://www.facebook.com/kawadouraku/ | | | |

| | | | | |
|--|--|---|-------|------|
| 団体名 | NPO法人 かわさき自然と共生の会 | | 活動年数 | 19年 |
| | | | メンバー数 | 100人 |
| 活動紹介 | 活動場所 | 岡上梨子ノ木特別緑地保全地区とその周辺 | | |
| | 活動日 | 毎月第2日曜日 午前10時から約2時間 | | |
| <p>活動を始めた背景</p> <p>2000年「岡上地区緑の保全地域の指定申出書」を川崎市長に提出し、岡上梨子ノ木緑地を清掃、整備して、2004年に特別緑地保全地区指定実現させたことに始まります。</p> <p>活動内容</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 緑地内遊歩道整備、下草刈り、間伐、枝打ち、植樹、いこいの広場維持、ヤマユリ植栽普及会の指導のもとヤマユリ再生。 (2) 周辺清掃、不法投棄防止の取組み、処理。 (3) 自然観察会、コンサート、研究会、感謝祭、親睦会、交流会開催・支援。 (4) 市民館岡上分館、こども文化センター、和光大学、小学校、幼稚園等との交流・支援。 (5) 地域のみどりの団体との連携。 (6) 行政との協働。 (7) 「ともいき圃場」 野菜、花栽培、周辺清掃。 (8) 総会、理事会の開催。 (9) 会報『ともいき』発行。 (10) その他、環境保全と周辺美化に関すること。 | | | | |
| | |  <p>梨子ノ木特別保全緑地 略図</p> <p>公道(信・鎌倉早/港支線)</p> <p>イラスト:高橋透さん</p> <p>サクラの芽もふくらんできました。</p> | | |
| 2022年度のトピックス | 地域の皆さんに岡上ワークキャンプを開催していただき、ついにランドマークとなっている茅葺き屋根の復活をしました。ナラ枯れも起こり始めていますが、倒木除去以外に特に対策はとっていません。 | | | |
| 課題 | 行政との協働。地域との協働。世代交代。 | | | |
| 参加上の案内 | 会員でない方の参加も心から歓迎しています。会員募集中。入会金1000円、年会費1000円です(作業用具代、年2度の懇親会、ニュース「ともいき」発行、配布などに使用)。年に3回のワークキャンプのみの参加も歓迎です。 | | | |
| 代表者 | 名前 堂前雅史 住所 〒195-8585 町田市金井ヶ丘5-1-1 和光大学 電話 044-989-7777 内線 4311 E-mail dom@wako.ac.jp | | | |
| 連絡先 | 同上 twitter https://twitter.com/kyouseinokai | | | |

| 名称 | 和光大学地域連携研究センター 地域・流域共生フォーラム | | 活動年数 | 14年3ヵ月 |
|--------------|---|--------------------------|-------|--------------|
| | | | メンバー数 | センター員7名、職員1名 |
| 活動紹介 | 活動場所 | 和光大学キャンパス、岡上地域、鶴見川流域、その他 | | |
| | 活動日 | オフィス開室は平日、活動日は週末も含み不定期 | | |
| | <p>2008年度に和光大学の取組「流域主義による地域貢献と環境教育」が文部科学省「質の高い大学教育プログラム(教育GP)」に選定されました。この実施・推進拠点として同年、学内に設置した地域・流域共生センターを、2016年の和光大学地域連携研究センター設立に伴い改組した学内機関が、本フォーラムです。</p> <p>文部科学省『人材認証制度のニーズ及びマッチングに関する調査貢献』調査報告書(2014)でも、先進事例として紹介されています。</p> <p>私たちは学内外に向けて、おおむね次の活動を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域・流域プログラム」を通じた実践的な環境教育の推進 <p>全学の学生を対象に、本学の教育理念とカリキュラム横断型の単位取得制度を生かし、持続可能な社会の「新しい公共」を支える環境シチズンシップ教育を推進し、日本でここだけの「流域環境士」資格を認定しています。環境教育指導者養成の資格認定講習会を年に数回開催し、都市部ならではの「足もとの自然」へのまなざしと、安全に楽しく自然と交流し地域の自然の質を高める実践力を養成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域・流域共生フォーラム」による地域貢献と活動支援 <p>学生と地域の住民・行政・NPOをワンストップで結ぶ拠点・窓口です。自然環境の保全や生物調査、川の掃除など学生の自主活動支援のために機材の貸し出し等を行うほか、行政等と連携して、子どもたちのための教育支援活動や自然観察会などの社会教育機会を、学生とともに地域に提供しています。</p> | | | |
| 2022年度のトピックス | <p>新型コロナ対策のため活動はかなり制限され、例年のような事業が出来ませんでした。慎重な感染対策を行ったうえで、親子自然体験学習(麻生区共済事業)や、新型コロナの流行で中止してきた RAC(川の指導者養成)講習会、環境教育プログラム「プロジェクト WILD」、「プロジェクト WET」のリーダー講習会、チェーンソー・刈払い機の安全講習会を3年ぶりに学生限定で開催しました。</p> | | | |
| 課題 | <p>地域・流域プログラムおよび各種資格講習会の、より効果的な広報を通じた受講拡大。流域環境士有資格者の活躍の場づくり。川の生き物観察等の野外活動については、今後も十分な感染対策を工夫しながら引き続き開催したいと考えます。</p> | | | |
| 参加上の案内 | <p>年に数回行っている各種の環境教育指導者資格認定講習会は、市民の方も受講可能な場合があります。(テキスト代実費)ご関心のある方は、地域・流域共生フォーラムのホームページやブログ記事をご参照下さるか、直接お問い合わせください。</p> <p>https://www.wako.ac.jp/cooperation/research-center/region.html</p> | | | |
| 代表者 | <p>名前 岩本陽児 住所 〒195-8585 東京都町田市金井ヶ丘5-1-1 電話 044-949-0003 FAX 044-949-0003 E-mail centr@wako.jp</p> | | | |
| 連絡先 | <p>名前 齋藤透 住所 〒195-8585 東京都町田市金井ヶ丘5-1-1 電話 044-949-0003 FAX 044-949-0003 E-mail centr@wako.jp</p> | | | |

| | | | | |
|--------------|--|--------------|-------|-----|
| 団体名 | 麻生区クールアース推進委員会 | | 活動年数 | 20年 |
| | | | メンバー数 | 12人 |
| 活動紹介 | 活動場所 | 麻生区 | | |
| | 活動日 | 毎月第1水曜日（定例会） | | |
| | <p>活動を始めた背景 麻生区区制20周年記念事業として、区役所屋上に太陽光発電設備の設置が決まったことを契機に委員会が発足。今年20周年を迎えた。</p> <p>活動内容 麻生区民に自然エネルギーの活用及び温室効果ガスの削減など地球温暖化防止対策を普及させること等「エコのまち麻生」の推進を目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会の開催（月1回） ・イベント あさお子育てフェスタ「おひさまと遊ぼう」、「太陽光発電設備設置記念イベント」、「夏休み環境イベント」「区民まつりへの出店」など ・小学校、保育園等への出前授業、大人向け出前講座 ・あさお自然エネルギー学校（講座） ・麻生区役所屋上太陽光パネル見学希望者の受け入れ ・ニュースレター「おひさまだより」の発行 ほか | | | |
| 2022年度のトピックス | 2022年8月夏休み環境イベント「ソーラーエコハウスを作ろう」、10月当会20周年記念イベント谷口たかひさ氏「気候危機 みんなが知れば必ず変わる！」講演会、2023年2月当会20周年記念イベント「気候危機の中 2030年に向けてできること」飯田哲也氏の基調講演と地域市民団体によるパネルディスカッションを行いました。Zoom併用の手法も取り入れて多くの参加を得ています。あさお子育てフェスタ、区民まつりへ出展し、出前講座は寺子屋あさお、多摩市永山、東百合丘町会に出向きました。 | | | |
| 課題 | 今年度から麻生区役所地域振興課との協働の形が変わり、事務局機能を地域振興課から委員会に移管しました。 市民委員の減少が課題となっています。 小学校出前講座のプログラムを準備していますが、近年依頼がない状況です。 | | | |
| 参加上の案内 | <p>■ 会員募集中</p> <p>興味のある方は下記へご連絡ください。</p> | | | |
| 代表者 | 名前 児嶋 脩（委員長） | | | |
| 連絡先 | <p>名前 林 恵美（事務局） 住所 〒215-0006 麻生区金程 1-13-22</p> <p>電話 299-6460 FAX 299-6460 E-mail emi814@sound.ocn.ne.jp</p> <p>麻生区ホームページから「麻生区クールアース推進委員会」で検索</p> | | | |

麻生区クールアース推進委員会



かわさきSDGs
パートナー

川崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

平成 14 年(2002 年)、麻生区区制 20 周年記念事業として、区役所の屋上に太陽光パネルが設置されたことを機に委員会が発足しました。

地球温暖化問題の解決に向けて、区役所と協働して自然エネルギー、省エネルギーの普及啓発活動を行っています。



麻生区役所屋上の太陽光パネル

月 1 回、区役所で委員会を開催しています。見学の希望、当委員会への質問など気軽にお問い合わせ下さい。麻生区 HP に紹介ページを掲載しています。



麻生区クールアース推進委員会
事務局:林 恵美
☒emi814@sound.ocn.ne.jp



記念イベント・自然エネルギー学校



自然エネルギー・省エネルギー・環境問題などをテーマとした講座等を開催

出前授業 (保育園・小学校・大人向け)



区内小学校で『自然エネルギーが学校にやってきた』を開催。大人向けも相談下さい

夏休み環境教室



自由研究に活かせる工作教室&ミニ学習会を開催

太陽光発電設備見学



麻生区役所屋上の太陽光パネルの見学は随時実施。お問い合わせ下さい

おひさまと遊ぼう



麻生区民まつり・子育てフェスタ等でソーラーグッズの紹介など

ニュースレター



自然エネルギー情報満載の「おひさまだより」を年 2 回程度発行

| | | | | |
|--------------|---|------|-------|-----|
| 団体名 | かわさきかえるプロジェクト あさおてんぷら油資源化チーム | | 活動年数 | 13年 |
| | | | メンバー数 | 6名 |
| 活動紹介 | 活動場所 | 麻生区内 | | |
| | 活動日 | 不定期 | | |
| | 活動を始めた背景 きれいな水と空気を未来の子どもたちに残すことを目的に「台所から地球温暖化ストップ!」をテーマに一般家庭から廃食油を回収し、せっけんやBDFにリサイクルする地域内資源循環を実現する。2012年から菜の花プロジェクトに取り組み、麻生区の農的資源を活かし、資源循環をさらに進め、区民への普及啓発を図る。 | | | |
| | 活動内容 1. 家庭から出る廃食油の回収とせっけん使用の推進。 2. 菜の花を栽培し、搾油、搾りかすは畑に戻し、油は食用に。残った油は回収してせっけんやBDFにリサイクルする菜の花プロジェクトの推進。「菜の花ボランティア」を募り、播種・除草・刈り取り・選別の作業を行っている。 3. より多くの区民に資源循環の取組みを知らせるため、各種イベントへ参加。 4. 子育て世代に地域資源循環の重要性を知らせるため、親子で楽しめる企画を行っている。 | | | |
| 2022年度のトピックス | 2022年春より、コロナ感染対策として募集人数を制限しながらも、親子教室を再開した。子ども権利の日の市民事業として、「せっけんおばけとあわあわであそぼう」を11月に行った。再開された子育てフェスタや区民まつりにも参加し、菜の花プロジェクトや廃食油回収、せっけんをアピールできた。2023年春には、親子教室をリニューアル、麻生産菜種油を使ったケーキ作りにくわえて「せっけんおばけ」とあそぶ企画とし、親子で楽しく環境について学ぶ機会とした。 | | | |
| 課題 | 廃食油の回収については、麻生区ホームページに回収のお知らせ掲載と区役所ロビーの使用について協働を継続している。親子企画では麻生区の後援をいただき、広報に協力いただいている。 チームメンバーの増員と菜の花ボランティアの新規募集が課題。 | | | |
| 参加上の案内 | 菜の花ボランティアとチームメンバーは随時募集。一緒に活動しましょう。 ■ 会員募集中 ■ 体験参加者募集中（受入れ態勢あり） ■ 事務局などのスタッフ募集中 ■ 寄付金の受付中 興味のある方は下記へご連絡ください。 地域資源循環やSDGs、せっけん学習会へ、講師派遣もします。 | | | |
| 代表者 | 名前 門平きょう子 住所 〒215-0024 麻生区白鳥 1-16-11 電話 988-2282 FAX 同左 E-mail kado0207@jcom.home.ne.jp | | | |
| 連絡先 | 名前 林 恵美 住所 〒215-0006 麻生区金程 1-13-22 電話 299-6460 FAX 同左 E-mail emi814@sound.c.ne.jp ホームページ https://kaeru.kazekusa.jp/ 麻生かえるをクリック | | | |



かわさきかえるプロジェクト 2023年1月

あさおてんぷら油資源化チームです!

地球温暖化による気候危機は喫緊の課題ととらえ、使用済みてんぷら油の回収をきっかけに、「台所から地球温暖化ストップ!」に参加し、自分事として考える人を増やしていきます。

菜の花プロジェクトを推進し、ボランティアのメンバーシップを高め、なたね油を活用したイベントで、地域の市民へのアピールを継続します。



~2022年 活動報告会~

2022年10月4日(火) 麻生市民館第1会議室

2022年産菜種の収穫を報告しました。3年連続調理・試食のない報告会となりましたが、今回は、活動の基本にあるリサイクルせっけん「きなりっこ」を題材に、せっけんと合成洗剤の違いを、実験を交えて学びました。



2022年秋 菜種の播種と生育状況

2022年10月に、古沢の鈴木さん、東百合丘の島貫さん、早野のはぐるまの会の圃場、千代ヶ丘・虹ヶ丘・王禅寺のこども文化センターの庭、宮前区の吉岡さんの畑に播種しました。東百合丘こども文化センターは2月に苗を植える予定です。

10月13日の東百合丘の種まきには西生田中学校のSDGsグループ学習を受け入れ、菜の花プロジェクトをSDGsの観点から学習し、一緒に種をまきました。

菜種苗は順調に生育しています。11月~12月の間引き作業は雑草取りも兼ねて行い、多くのボランティアさんのお手伝いをいただきました。

菜の花のボランティアさんには年間を通して菜の花の手入れをお願いしています。ボランティアは随時募集しています。詳しくは事務局へお問い合わせください。

4月の満開の菜の花を楽しみにしています。今期も見学会を計画します。



9月古沢の畝づくり



東百合丘の種まき
西生田中学校の生徒さんたち



早野 除草と間引き






古沢 除草と間引き



当プロジェクトの活動にご協力いただいている方に発送しています。

【問合せ先】〒215-0006 麻生区金程 1-13-22 かわさきかえるプロジェクト事務局 林 恵美

Tel/Fax299-6460 emi814@sound.ocn.ne.jp

| | | | | |
|--------------|--|------------------------------------|---|-----|
| 団体名 | グループ「せっけんの家」 | | 活動年数 | 27年 |
| | | | メンバー数 | 54名 |
| 活動紹介 | 活動場所 | 神奈川県内 | | |
| | 活動日 | 講座は企画に応じて開催。 世話人会(スタッフ会議)は月1~2回 | | |
| | 活動を始めた背景 | |  <p>せっけんを使って … 守ろう 水 つなげよう未来 に…</p> | |
| | <p>♪ うさぎ追いし彼の山～、小鮒釣りし彼の川～ ♪</p> <p>この半世紀、山は開発の波に呑み込まれ、どんどん自然が少なくなっています。</p> <p>合成洗剤の登場で、70年代に日本全国の川が泡だらけになったこともありました。 そのころ、合成洗剤の影響で皮膚障害を起こす人が増え、医師から合成洗剤の使用をやめて せっけんを使うようにしなさいと多くの方が言われました。</p> <p>私たちが洗濯に使う洗剤には、せっけんと合成洗剤があり、違いがあります。 せっけんは植物や動物の油に薬品を反応させただけのもので、人体に優しく、自然界に流れ出ても1日で分解されます。</p> <p>合成洗剤は石油が精製される過程でできたナフサを原料としていて、その成分の合成界面活性剤(直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム他9種類)は環境省で定めたPRTR制度で、人の健康を損ない、動植物の生息に支障をきたすという、第一種指定化学物質にあげられています。</p> <p>私たちは、人体にも環境にも負荷のかからないせっけんを使って、未来の子どもたちに今ある地球の環境を残したいと活動をスタートしました。</p> | | | |
| | <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ せっけん出前講座 ・ 学習会 ・ せっけん作り ・ 会報紙「せっけんカフェ」発行 ・ 湧水めぐり ・ 里山フォーラム参加 他 | | | |
| 2022年度のトピックス | <p>コロナ禍では多くの方が集まって開催する講座はやむなく中止が多く、なかなか対面できない状況でしたが、昨年は講座も徐々に通常にもどりつつあり、室外でのみんなで楽しめる“シャボン玉”と“コネコネせっけん&バスボムを作ろう”は親子で楽しめて好評でした。</p> <p>若い方たちがよりアクセスしやすいように、会のホームページを刷新しました</p> <p>グループ「せっけんの家」のホームページ https://sekkennoie.sakura.ne.jp/</p> <div style="display: flex; align-items: center;">   </div> | | | |

| | |
|---------------|--|
| <p>課題</p> | <p>川崎市内の小学校の給食現場や一般家庭やレストランからでた使用済み食用油を原料とした「きなりっこ」を私たちは多くの方々にその優位性と使いこなし方を伝えてきました。SDGsが叫ばれる昨今、資源循環の申し子と言っても過言ではない『きなりっこ』を給食を通して、次世代の子どもたちには考えるきっかけとなるよう、家庭では環境に配慮した持続可能なせっけんとして、これからも自信をもって進めていきます。</p> |
| <p>参加上の案内</p> | <p>貴会からのいつものメッセージをご記入ください。 <input checked="" type="checkbox"/> 会員募集中 <input checked="" type="checkbox"/> 体験参加者募集中(受入れ態勢あり) <input checked="" type="checkbox"/> 事務局のスタッフ募集中 <input checked="" type="checkbox"/> 寄付金の受付中 興味のある方は下記へご連絡ください。</p> |
| <p>代表者</p> | <p>名前 藤原 美子 住所 〒215-0031 麻生区栗平1-4-37 電話 & FAX 044-987-2084 ケイタイ 090-5825-1770 E-mail ypyf311b@jcom.home.ne.jp</p> |
| <p>連絡先</p> | <p>名前 村山 美香子 住所 〒215-0036 麻生区はるひ野4-18-4 電話 044-299-7730 ケイタイ 090-6018-2114 FAX 044-299-7731 ホームページなど E-mail mt.village1129@kyp.biglobe.ne.jp NEW HP https://sekkennoie.sakura.ne.jp/</p> |



シャボン玉
 いっぱいとばそう
 ね!(^O^)/

コネコネせっけんで
 かわいいせっけんが
 たくさんできたね!






| | |
|---------------|--|
| <p>課題</p> | <p>川崎市内の小学校の給食現場や一般家庭やレストランからでた使用済み食用油を原料とした「きなりっこ」を私たちは多くの方々にその優位性と使いこなし方を伝えてきました。SDGsが叫ばれる昨今、資源循環の申し子と言っても過言ではない『きなりっこ』を給食を通して、次世代の子どもたちには考えるきっかけとなるよう、家庭では環境に配慮した持続可能なせっけんとして、これからも自信をもって進めていきます。</p> |
| <p>参加上の案内</p> | <p>貴会からのいつものメッセージをご記入ください。 <input checked="" type="checkbox"/> 会員募集中 <input checked="" type="checkbox"/> 体験参加者募集中(受入れ態勢あり) <input checked="" type="checkbox"/> 事務局のスタッフ募集中 <input checked="" type="checkbox"/> 寄付金の受付中 興味のある方は下記へご連絡ください。</p> |
| <p>代表者</p> | <p>名前 藤原 美子 住所 〒215-0031 麻生区栗平1-4-37 電話 & FAX 044-987-2084 ケイタイ 090-5825-1770 E-mail ypyf311b@jcom.home.ne.jp</p> |
| <p>連絡先</p> | <p>名前 村山 美香子 住所 〒215-0036 麻生区はるひ野4-18-4 電話 044-299-7730 ケイタイ 090-6018-2114 FAX 044-299-7731 ホームページなど E-mail mt.village1129@kyp.biglobe.ne.jp NEW HP https://sekkennoie.sakura.ne.jp/</p> |



シャボン玉
 いっぱいとばそう
 ね!(^O^)/

コネコネせっけんで
 かわいいせっけんが
 たくさんできたね!



| | | | | |
|---|--|--|-------|---|
| 団体名 | ふらっと新百合ヶ丘 | | 活動年数 | 5 年 |
| | | | メンバー数 | 5名とサポート |
| 活動紹介 | 活動場所 | 麻生こども菜園 会場：支え合いファーム（麻生区栗木 3-6-20） | | |
| | | つながる朝市 会場：カナドコロ（麻生区金程 4-3-1）不定期開催 | | |
| | | ふらっとリビング 会場：Café&Space L.D.K.（麻生区栗平 2-1-6） | | |
| | <p>活動を始めた背景や内容</p> <p>麻生こども菜園・・・小規模多機能支え合いのご協力により、小さな菜園で麻生区に住む約 15 家族と野菜を育てています。年 2 回募集をしており、夏野菜、冬野菜を作っています。LINE やメールにてお問い合わせください。</p> <p>ふらっとリビング・・・多世代交流居場所作りとして、毎月第二水曜の 15 時半より栗平で活動。食育ワークショップをして遊んでいます。LINE やホームページでお問い合わせください。サポートメンバーも募集しています。</p> | | | |
|  <p>農園収穫体験・・・麻生区農家さんの畑へ行って、親子で収穫体験や食事を行います。2022 年はサツマイモ収穫、じゃがいも収穫のお手伝い、ブルーベリー収穫、冬野菜の収穫体験など。黒川の立川農園、栗平のくりのきファームにご協力いただきました。</p> | | | | |
|  <p>つながる朝市・・・金程にあるカナドコロで開催。新鮮な野菜販売や地元野菜を使ったお料理の販売。子供が楽しめるワークショップや青空ライブなども開催。</p> | | | | |
| 課題 | ふらっとリビングでは、食育の一貫で食事やワークショップ活動をしています。ぜひ毎月第二水曜にお料理を作れる方を募集しています！ | | | |
| 参加上の案内 | <p>地元の野菜を通して、楽しい活動をしています。</p> <p>■ 一緒に活動できるスタッフを募集しています</p> <p>興味のある方は下記または右記の LINE へご連絡ください。 →LINE</p> | | |  |
| 連絡先 | <p>名前 中村ふみよ ※ぜひ HP や Facebook で《ふらっと新百合ヶ丘》を検索！</p> <p>電話 070-8593-1287 E-mail: flatshinyuri@gmail.com</p> <p>ホームページ https://shin-yuri.jimdo.com/</p> | | | |

| | | | | |
|---------|--|--------------------------------|-------|-----|
| 団体名 | 麻生ヤマユリ植栽普及会 | | 活動年数 | 14年 |
| | | | メンバー数 | 13名 |
| 活動紹介 | 活動場所 | 植栽活動は麻生区内4カ所。 会議は区役所・会議室 | | |
| | 活動日 | 植栽活動：各植栽地で月1～2回。 定例会議：隔月第3木曜日。 | | |
| | <p><目的> 消えつつある区の花ヤマユリを地域のボランティア団体と連携しながら、ヤマユリの植栽を促進・支援し、そのノウハウの蓄積と普及を推進すること。</p> <p><活動内容> *月1～2回、麻生区内の緑地・公園に赴き、ヤマユリの植栽・保全活動を行っている。 現在の主な植栽地（協働団体）は①岡上・梨子ノ木緑地（かわさき自然と共生の会） ②王禅寺すぎのき緑地・下麻生まつのき緑地（木こりの会） ③おやしる公園・さとやま公園（新百合山手公園管理協議会）④市民館裏と区役所中庭など。</p> <p>▲3月23日、麻生市民館で「育苗講習会」を開催、ヤマユリの育て方の講習と当会が発芽させた幼苗を参加者に無料配布します。</p> <p>▲昨年は7月1日～7月6日に掛けて「ヤマユリ開花展示会」を麻生市民館ギャラリーヤマユリの成長過程の苗なども展示、入場者が熱心に見入っていました。</p> <p>▲区制40周年記念行事として「ヤマユリ写真展」を9月9日～11日まで麻生市民館ギャで開催、区民の方からヤマユリの写真を募集して区長賞など10作品を表彰した。また、ヤマユリの水彩画なども特別に展示した。</p> | | | |
| トピックスなど | ▲昨年10月に百合丘小学校でヤマユリの「出前授業」を実施した。1年生を対象に種の植え付け方法の説明と実演を行い、児童たちにも体験してもらった。また、2回目として今年2月に3年生に「ヤマユリと地域のつながり」をテーマにパネルや参考資料で授業を行った。引き続き3月に5年生を対象に「ヤマユリと環境（地球温暖化）」をテーマに会員が講師になり授業を行った。 | | | |
| 課題 | ▲近年、麻生区内でも公園や緑地でナラ枯れやマツ枯れがみられるようになった。公園を管理する道路公園センターも苦慮しているようだが、ヤマユリの育成にも影響が出始めている。 | | | |
| 参加上の案内 | 麻生区に在住し、在勤・在学の方ならどなたでも参加できます。 年会費：無料 <input type="checkbox"/> 会員募集中 <input type="checkbox"/> 体験参加者募集中（受入れ態勢あり） 興味のある方は下記へご連絡ください。 | | | |
| 代表者 | ▲松田 肇 住所：麻生区王禅寺東3-8-40 電話：090-7904-3112 | | | |
| 連絡先 | ▲事務局 山田 電話：090-2565-3390 E-mail:ginjirou10@mte.biglobe.ne.jp ▲麻生区のHPのトップページ柿丸君の下、区の花ヤマユリをクリックすると当会の詳しい内容が見られます。 | | | |

| | | | | |
|------|---|---|---|-------|
| 団体名 | 万福寺人参友の会 | | 活動年数 | 23.5年 |
| | | | メンバー数 | 20人 |
| 活動紹介 | 活動場所 | 平素は各会員の栽培地。種の配布と「品評会・試食会」は麻生市民館 | | |
| | 活動日 | 種の配布は6月。「品評会・試食会」は12月下旬 | | |
| | 《活動趣旨》 | <p>万福寺鮮紅大長人参（通称：万福寺人参）は、現在の麻生区万福寺とその周辺地区のかつての特産品で、全国野菜品評会において昭和29年から5年連続で日本一になりました。会ではこの人参の栽培と普及の活動を通して、人参を生み出した人々の歩みや風土を深く理解し、次の世代にも伝えていきたいと考えて活動しています。</p> <p>《第23回万福寺人参品評会-私の万福寺人参を語り合う会- 12月18日開催》</p> <p>品評会は、例年試食会と併せて「里山フォーラム in 麻生・幹事会」のご支援のもとで開催してきました。今年度もコロナ禍の中で前年度に続いて試食会抜きで開催となり、出品人参の減少も懸念されましたが、出品人参数は33組と増えました。長さ28cmから102cmの人参が並ぶ姿は圧巻でした。また関係の方々のご尽力による地元小中学校と大学での栽培と出品は、この人参をめぐる世代継承が着実に営まれていることを感じさせてくれました。品評会では、残念ながら「味覚賞」はコロナ禍による審査困難のため設けず、その他は厳正な審査のもと次の各賞受賞者が決まりました。審査委員（成松次郎、長瀬和徳、岩本陽児、三瓶清美、齊藤誠）</p> | | |
| |  | <p>最優秀賞〔区長賞〕 鈴木章夫（古沢上の畑） 準優秀賞 タイガーファーム 能勢のり子（黒川東） 姿〈ルックス〉賞 高橋八重子（早野） 色彩賞 千代ヶ丘小学校5年2組（学校脇） 香り賞 日下部光代（古沢協働菜園） 努力賞 金程小学校2年（校内） 努力賞 明治大学 佐藤来夢（生田校舎農場） ユニーク賞 明治大学 宮本奈々子（生田校舎農場）</p> |  | |
| |  | <p>審査中の別室での「語り合う会」は大いに話が弾みました。小学生、大学生、30代40代の方々の視点の違った話も面白くかつ栽培者ならではの努力を重ねているからこそその含蓄のある言葉が続きました。</p> <p>なお今年度は区制40周年記念でもあり最優秀賞は麻生区長賞ともなり、区役所ロビーに展示しました。</p> | | |
| 種の配布 | 栽培を希望する人への種の斡旋・配布(有料)を6月後半におこなっています。 | | | |
| 課題等 | <p>①麻生区内の学校で取り上げてくれることを重視しています。</p> <p>②この人参の遺伝性質と風土性を維持継承するため、地元採種の経験を蓄積したい。</p> | | | |
| 参加案内 | <p>■初めて栽培する人歓迎 ■事務局スタッフ募集中 ■寄付などの受付</p> | | | |
| 連絡先 | <p>名前 岡本 剛介 電話 090-9158-0451 Eメール go-okamoto@ymobile.ne.jp</p> | | | |

万福寺人参の歌

作詞 おおむしやん

作曲 ぶたぶたやん
(補作詞)

一、真夏の太陽 照る畑
たせい たせい 井が出たも
人参がこれば 心が晴れる
ころろ万福 福かする

※(一・十・百・千・万福寺 大長人参)

二、仰ぐ青空 黒い土
ほたりほたり なかなかし
人参たぐれば 丈夫になれる
うまいも万福 福かする

※(繰り返す)

三、村を興った人参の
命のちを伝えよう
心あわせおんなごころ
元気に万福 福かする

※(繰り返す)



| | | | | |
|--------------|--|----------------------------|-------|-----|
| 団体名 | 麻生区地域教育会議 | | 活動年数 | 28年 |
| | | | メンバー数 | 36名 |
| 活動紹介 | 活動場所 | 主に麻生市民館 | | |
| | 活動日 | 運営委員会隔月、役員会月1回、子ども会議11月23日 | | |
| | <p>活動を始めた背景</p> <p>1980年代、校内暴力で荒れる学校や少年事件が多発し、川崎でも深刻な事件が起き、教育の危機が指摘されました。市民の声をもとに、川崎では地域からの教育改革を目指して、「地域教育会議」が提案され、行政区や中学校区に順次設置されました。麻生区地域教育会議では、地域と学校・行政がともに協力し、子どもがいきいき育つまち、大人が楽しく学べるまちを目指し活動すると共に、区内中学校区での地域学校協働本部に向けて協力しています。</p> <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク会議 住民委員をはじめ、様々な関連団体の人の情報交換・交流の場 ・教育を語るつどい（麻生の寺子屋） 中学校区（地域学校協働本部）交流会・地域の寺子屋交流会 ・子ども会議（青空子ども会議） 「かわさき子どもの権利条例」に基づき、子どもたちが自由に考え、表現し、交流する場 ・さんりんしゃ（広報紙）発行 | | | |
| 2022年度のトピックス | <p>2022年度は、新型コロナ対策をおこないながら、通常に近い活動を再開することができました。行政区としては、3つの情報交換・交流の場を開催。それぞれの立場の課題についても話し合う機会を設けることができました。また、17年ぶりに、子ども会議を開催し、多くの子どもたちに参加してもらうことができました。子どものいきいきをした笑顔や声、大きい子どもたちが小さい子どもたちの意見を引き出し真剣に聞く姿があちらこちらで見られました。コロナ禍で制限の多い生活を送ってきた子どもたちへ、大人ができることを考え、実践していくことの大切さを感じました。次年度も開催に向けて活動をすすめていきます。</p> | | | |
| 課題 | <p>行政の制度の変更等の情報共有や対応に時間がかかる。</p> <p>活動を継続し、発展していくためには、参加団体との連携強化と共に、地域教育会議の根幹である住民委員をいかに増やしていくかが課題。</p> | | | |
| 参加上の案内 | <p>□14期住民委員募集予定 ※詳細については3月発行の広報紙さんりんしゃ参照 興味のある方は下記へご連絡ください。</p> | | | |
| 代表者 | 名前 井上俊夫（議長） | | | |
| 連絡先 | <p>麻生市民館生涯学習支援課地域教育会議担当 住所 〒215-0004 麻生区万福寺1-5-2 麻生市民館内 電話 951-1300 FAX 951-1650 E-mail 88asaosi@city.kawasaki.jp</p> | | | |

青空子ども会議

2022 年 11 月 23 日 会場：黒川青少年野外活動センター



午前中は
みんなで力を合わせ
ピザ作り

初めて会った子ども
友だちになったよ！



午後からは
麻生の自然をみんなで考え、話し合いました。
最後は、グループ毎に発表
小学生から高校生まで
たくさんの意見が出ました

ポスターの
素敵なイラストを描いて
くれた松浦君も
来てくれました



全員集合！
来年も会おうね！

| | | | | |
|--------------|---|------------------|-------|-----|
| 団体名 | 麻生区こども会連合会 | | 活動年数 | 40年 |
| | | | メンバー数 | 30名 |
| 活動紹介 | 活動場所 | 麻生区内 | | |
| | 活動日 | 年間を通して子ども会の行事を開催 | | |
| | <p>活動を始めた背景</p> <p>学校や家庭以外でも、仲間を作り助け合うことの大切さを学ぶ場としてずっと活動しています。みなさんの子どものころからある子ども会ですので、これからも変わらず活動します。今年は、子ども会連合会40周年の年ですので、思い出深い活動をしていきたいです。</p> <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ活動「少年野球大会」「羽根つき大会」など ・区民祭や福祉祭りへの出店 ・町のボランティア活動 ・八ヶ岳キャンプや遠足など | | | |
| 2022年度のトピックス | 感染対策を取りながら、徐々に活動を再開しています。 | | | |
| 課題 | バリバリと働く女性も増えてきている中で、これまでと同じ運営では役員の担い手がいなくなるので、女性だけでなく男性も加わってもらえることが望ましいです。 | | | |
| 参加上の案内 | 役員の世代交代が始まっています。ベテランと新規役員が混ざること、古き良きものと時代に合った新しいものを組み合わせて活動しています。 地域貢献に興味のある方は、下記へご連絡ください。 | | | |
| 代表者 | <p>名前：本田 知生</p> <p>住所：〒215-0035 川崎市麻生区黒川681-1 ガーデンシティ若葉台104</p> <p>電話：080-3085-4311 FAX：044-980-0504</p> <p>E-mail：t.honda104@gmail.com</p> | | | |
| 連絡先 | 同上 | | | |

名称

川崎市役所環境局総務部企画課

活動紹介

川崎市では、「生物多様性かわさき戦略～人と生き物つながりプラン～」を平成26年3月に策定し、取組を進めてきました。

この度、社会状況の変化等を踏まえ、都市と自然が共生するまちの実現をめざすため、令和4年3月に生物多様性かわさき戦略を改定しました。

生物多様性かわさき戦略ホームページ

<https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000134692.html>



基本方針Ⅰ
人と生き物をつなげる
(生物多様性の保全にかかわる環境教育や人材育成の推進)

基本方針Ⅱ
生き物をつなげる
(生き物の生息・生育拠点の創出、育成)

基本方針Ⅲ
情報をつなげる
(生物多様性に関する様々な情報の収集と調査・発信)

【基本方針Ⅲの取組の一つ：かわさき生き物マップ】

インターネット上で市域の生き物情報を募集し、寄せられた生き物情報を季節ごとに地図情報として公開しています。

現在募集している生き物を表示します。(季節ごとに変更)

クリックすると、生き物発見情報の入力画面が別ウィンドウで表示されます。

生き物発見情報を応募する

クリックすると、「みんなで作る生き物図鑑」が別ウィンドウで表示されます。

生き物発見情報を新着順に表示します。

市内で開催するイベント等の情報を掲載しています。

投稿された生き物発見情報を地図上に表示しています。地図上のアイコンをクリックすると生き物情報が内に表示されます。

現在の季節以外の生き物マップを別ウィンドウで表示します。

かわさき生き物マップホームページ

<https://kawasaki.geocloud.jp/webgis/biodiversity.html>



連絡先

住所 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地
 電話 044-200-3720 FAX 200-3921
 E-mail 30kikaku@city.kawasaki.jp

2022年度の 里山フォーラム in 麻生 事業の概要

今年度もまた新型コロナ感染予防を第一に、事態の推移を注意深く見守りながら、事業を繋いだ日々でした。コロナ禍で足もとの暮らしの見直しや身近な公園・緑地・農地の自然に触れたいという気運が芽生えていたようです。関心を持つ方が多くなりました。10月には区民祭りが再開されました。フォーラムでも区制40周年を記念してからむし作品展示と写真展の16年間の振り返り展示を行いました。

令和4年度 麻生区地域課題対応事業-麻生里地山保全推進事業

からむし講座 ① ②

からむしってなに？ 麻生区の地名が由来する植物 麻=からむし(苧麻)のことです。
講座では縄文時代からの人と自然のかかわり-文化をつむぎ、学びます。

① からむし ボランティア 研修

7月10日(日曜)

麻生市民館 料理室 午後2時~4時

- 「カラムシ」という植物を知る
- 苧引きや糸づくりを体験し作品を作り、子どもたちの学習のお手伝いをしよう。
- ◎ 募集 関心のある方10人程度



② 親子で楽しむ からむしワークショップ

7月17日(日曜)

麻生市民館 料理室 午後2時~4時

- 区名の由来などを学び、カラムシから繊維を取り出してみよう。
- 糸や紐にすると何が出来るかな？ 工夫するのも楽しいね。
- ◎ 募集 親子8組(小学生以上)



令和4年度 麻生区地域課題対応事業-麻生里地山保全推進事業

麻生区区制40周年記念

あさお 里山 こどもクラブ

やってみよう！ 自然探検・不思議発見

第1回 10月16日(日曜)

自然は、友だち 秋の虫・草や木の実を探そう

- ・王禅寺ふるさと公園(市制60周年記念総合公園)
- ・講師 高柳芳恵(ナチュラリスト)



第2回 10月30日(日曜)

地形と湧き水そして生きものたち

- ・黒川よこみね緑地
- ・講師 窪田迅郎(水辺のある里山を守る会)



第3回 11月12日(土曜)

五感で発見 里山の自然

- (特別講座)・長池公園(八王子市)
- ・講師 小林健人(長池公園副園長)



第4回 11月27日(日曜)

里山を楽しむ 作業&収穫祭

- ・柿生の里特別緑地保全地区
- ・講師 柿生の里クラブメンバー



(写真は昨年度の様子)

- ・時間 10:00~12:00
- ・対象 麻生区内の小学生とその保護者
- ・講師紹介、申込み方法など 必ず裏面を見てね →
- ・申込み締め切りは10月7日(金)必着

主催 里山フォーラム in 麻生/麻生区生涯学習支援課

万福寺人参品評会は12月18日(日曜日)午前の開催です。

12月に入り季節は晩秋から初冬へと進みました。一段と冷えこんできましたが、お変わりなくお過ごしでしょうか。
6月~7月に種を蒔いた万福寺人参は、皆様の丹精が込められて間もなくの収穫を待っているようです。
夏の酷暑や暴風雨も乗り越え、今年の育ち具合はいかがでしょう？ いろいろな工夫も持ち寄って今年の「万福寺人参」を語り合いたいと思います！ どうぞ奮ってご出品、ご参加ください。



今年度は麻生区区制40周年です。特別賞として麻生区長賞も用意しています。優秀賞、香り賞、姿賞、ユニーク賞、努力賞などの行方も気になりますね。審査の合間の「私の万福寺人参を語り合う会」もお楽しみに。

第23回 万福寺人参品評会 万福寺人参語り合う会

- ・期日 12月18日(日曜日)
- ・時間 10:00~12:00
- ・会場 麻生市民館 実習室
- ・参加費 無料

- ※ 要申込み 12月12日(月曜)までに下記申込み先にメールかファックスでお願いします。(同封の申込票をご利用ください)
- ※ 申込み先
メール satoyamaforum@gmail.com
ファックス 044-951-1650(麻生市民館)

- ・申込みのない場合は入室できません。
- ・感染予防に努めての開催となります。定員40名を超えた場合は、出品者・栽培者優先となりますのでご了承ください。なおマスク着用、検温、換気などに協力ください。

主催 里山フォーラム in 麻生・万福寺人参友の会/麻生市民館(麻生区生涯学習支援課)
令和4年度 麻生区地域課題対応事業-麻生里地山保全推進事業
お問合せは TEL 070-6426-6123 or TEL 044-951-1300



● 万福寺人参を出品するには

受付の日時
12月17日(金) 15:30~17:30
12月18日(日) 9:15~9:40
(時間厳守)

受付場所 両日とも
麻生市民館 相談ルーム(事務室向い)

出品の仕方





- ・必ず洗った状態で、葉付きのもの2本をセットにしてください。
- ・同封の出品票に、出品者の
① 連絡先(住所・電話) ② 氏名
③ 種蒔き日・収穫日 ④ 栽培地
をご記入ください。

令和4年度 里地里山ナチュラリスト養成講座

第1回

第2回 その1・その2

第3回

| | | |
|--|--|---|
| <h3>春を待つ樹々を観察しよう</h3> <p>樹々は冬から春へどんな準備をしているのかな？ 新百合ヶ丘の公園・緑地・緑道を巡りながら 思いがけない自然を知って、その不思議に出会いましょう。</p> <p>2月18日（土曜日） 午後1時30分～3時30分</p> <p>講師 高柳芳恵 (ナチュラリスト)</p>  <p>春が近づくと 葉っぱや花は どこから出てくるの？ 【冬芽】</p> <p>冬の顔はどんな顔？ いろんな顔がある！ 【葉痕】</p> <p>●集 合 新百合ヶ丘駅改札前 駅敷 弘法松公園(予定) 一ノ宮駅は車道参照 ●対 象 関心のある方ならどなたでも参加できます。教子さん、学生さんもどうぞ。</p> | <h3>竹を間伐し行燈を作る</h3> <p>孟宗竹の間伐を各自ができる所で体験し、 その切った竹で行燈作りにチャレンジしてみましょう。</p> <p>●第2回その1 竹の間伐体験 2月25日（土曜日） 午後1時30分～3時30分 協力 川崎市公園緑地協会 柿生の里クラブ</p>  <p>●第2回その2 竹行燈作りにチャレンジ 3月4日（土曜日） 午後1時30分～3時30分 講師 黒川竹行燈の会 (野島保代表)</p>  <p>黒川竹行燈の会 の方の作品</p> <p>●集 合 関心のある方ならどなたでも参加できます。 ※但しその1・その2両方に参加できる方に限ります。</p> | <h3>金程・向原の 里山の変遷をたどる</h3> <p>この地の里山は住宅地へと大きく変貌しましたが、現在まで 残されてある農村の暮らしの跡かたを辿りながら、森や林の 変遷やナラ枯れなどの課題を考えます。</p> <p>3月11日（土曜日） 午後1時30分～3時30分</p> <p>お話し 海野芳彦(ランドスケープアーキテクト・森もりクラブ代表)</p>  <p>●集 合 新百合ヶ丘駅改札前 駅敷 瑞林(バス停など案内) 一ノ宮駅は車道参照 ●対 象 関心のある方ならどなたでも参加できます。</p> |
|--|--|---|

第17回 わたしのまちのホッとする風景 写真展 今編・昔編 入賞者一覧 寄せられた150点はどれも思いがこもる素晴らしい作品でした。

- ・麻生区長賞
「中庭の春」 白井敏彦
- ・麻生市民館長賞
「1960年代の麻生の畜産シリーズ」 鈴木秀雄
- ・里山フォーラム賞
「修廣寺 今昔シリーズ」 菅原陽子、菅原節生
- ・特別エッセイ賞「幻の東林寺堰」
「白根耕地と呼ばれた地の65年間」 宮城すみ子
- ・特別賞「半世紀前、多摩線開通前年」 井上康輔
- ・特別賞「勝坂からの眺め」 市嶋新
- ・特別賞「50年前の古沢、片平」 荻久保嘉章
- ・ホッと賞「水鏡」 鈴木孜
- ・ホッと賞「里山の実り」 真下智彦
- ・ホッと賞「弘法松の夢の跡」 荒木英子
- ・ホッと賞「紅葉の下 散歩」 伊藤武夫
- ・ホッと賞「協奏曲のような作業」 早野里山ボラ

第十七回 わたしのまちの
ホッとする風景写真展
今編・昔編 応募受付中

風に揺られて…
木の肌の温かさに
幼子の仕草に…
四季折々の
花や草にときめいて
いのちあることに…
ふっと ほっと
ひととき
心が動いたひとこまを
お寄せください

わたしの記憶が
あなたの記憶とかさなり
まちの記憶となっていく

※応募受付中 令和5年3月7日(日)まで
審査は3月下旬まで
審査結果は4月上旬に発表させていただきます。

※応募受付中 令和5年3月7日(日)まで
審査は3月下旬まで
審査結果は4月上旬に発表させていただきます。

第16回入賞写真紹介などは中画 →

主催 甲山フォーラム in 麻生・麻生区生涯学習支援課(麻生市民館)
令和4年度 麻生区地域課題対応事業 麻生里地里山保全推進事業

フォーラム資料集（団体施設編）も22年目にして初めてできるところでのカラー印刷にチャレンジしました。当初の手作り感満載のものからずーと各活動に携わる方々の厚い気持ちが溢れ伝わって来ます。ボランティアな市民活動は継続や発展が難しいと言われますが、42年目となる団体もあります。なかなか活動現場に足を運べなくても行間から垣間見える一人一人の笑顔と汗を思い浮かべていると、知恵や勇気が湧いてきます。紹介カードをお寄せいただいた皆様に深く感謝いたします。〔編集・入稿 石井よし子〕

「2023 里山フォーラム in 麻生 資料集 第 22 号」

発行日 2023(令和5)年3月18日

編集・印刷・製本 里山フォーラム in 麻生

※本資料集の内容を参考にする場合はご一報頂ければ幸いです。
無断転用などをご遠慮ください。→ 連絡先 里山フォーラム in 麻生
E-mail satoyamaforum@gmail.com TEL 070 - 6426 - 6123

令和4年度 麻生区地域課題対応事業-麻生里地里山保全推進事業
主催 里山フォーラム in 麻生・麻生区生涯学習支援課(麻生市民館)
麻生市民館 TEL 044-951-1300